

香川県みどりの基本計画(案)

概 要

1 策定経緯

| | | |
|------|--------|-----------------------------------|
| 令和元年 | 7月 9日～ | みどりの保全と創造に関するアンケート調査 |
| 令和2年 | 1月16日 | 知事から香川県環境審議会に諮問(自然環境部会へ付託) |
| | 1月22日 | 令和元年度第1回香川県環境審議会 自然環境部会 |
| | 3月25日 | 令和元年度第2回香川県環境審議会 自然環境部会 |
| 令和3年 | 1月19日 | 令和2年度香川県環境審議会 自然環境部会 |
| | 3月 2日 | 2月県議会 環境・建設委員会 |
| | 5月 | 令和3年度第1回香川県環境審議会 自然環境部会 (書面開催) |
| | 6月28日 | 6月県議会 環境・建設委員会 |
| | 6月29日～ | パブリック・コメント意見募集開始(～7月28日) |
| | 8月 | 令和3年度第2回香川県環境審議会 自然環境部会 (書面開催) |
| | 9月 | 9月県議会 |

2 素案からの主な変更点

| | |
|--------------|--|
| 第4章 施策の展開 | 2-2-2 すぐれた風景や自然環境、良好な生活環境の保護・保全 香川県の豊かな自然環境が貴重な財産であることを踏まえ、自然環境保全地域等の保護・保全の推進について具体的に記載し、自然海浜保全地区の指定状況を追記 2-2-3 自然記念物等の保護・保全 香川県の豊かな自然環境が貴重な財産であることを踏まえ、自然記念物等の保護・保全の推進について具体的に記載 |
| 全般的事項 | 指標 現況についてはすべて最新の数値としたほか、県政モニターアンケートの調査結果を踏まえて検討することとしていた指標については新たに目標を設定 方向性を同じくするSDGsのゴール 記載内容を改めて整理し、該当するSDGsのゴールを追加 |
| 参考資料 | 参考資料を追加 用語解説、天然記念物等の指定状況、みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例、香川県環境基本条例、令和元年度県政モニターアンケート調査結果の概要、令和3年度県政モニターアンケート調査結果の概要、計画策定の経緯及び香川県環境審議会委員名簿を追加 |

3 パブリック・コメントの実施結果

意見の提出なし

香川県みどりの基本計画（案）の概要

1 基本的事項

(1) 計画策定の趣旨・位置付け

- みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例第6条に基づく緑化の推進とみどりの保全に関する基本的な計画
- 香川県環境基本条例に規定する自然環境の保全やみどりの創出等に関する分野の基本的な計画
- 「香川県総合計画」の基本方針に沿って作成する計画

(2) 計画の期間

- 令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間

(3) 計画の対象範囲

- 森林の保全、公共施設・民間施設の緑化、地域の緑地の保全、水辺のみどり・農地の保全等の分野を対象

(4) 基本的な考え方

- 地域のみどりづくりに関して長期的な視点を持って施策に取り組み、みどりを将来に引き継いでいく。
- 基本目標を前計画から引き継ぎ、みどりを取り巻く社会情勢の変化や県民の意向などを施策体系に反映させ、総合的かつ計画的に施策を推進していく。

2 基本目標と施策展開の基本方向

(1) 基本目標

「みんなで育て、活かす、みどり豊かな暮らしの創造」

(2) 施策展開の基本方向

- 基本目標に向けた緑化の推進とみどりの保全に関する施策展開の基本方向を3つに整理。
- 計画に掲げる施策を実施することにより、二酸化炭素の吸収源である森林の整備を通じて地球温暖化の防止やSDGsの目標達成にも貢献していく。
- 新型コロナウイルスなど感染症のリスクを低減した社会経済活動の促進を図る。

| 基本目標 | 施策展開の基本方向 |
|-------------------------|--------------------|
| みんなで育て、活かす、みどり豊かな暮らしの創造 | 1 森林整備と森林資源循環利用の推進 |
| | 2 暮らしを支えるみどりの充実 |
| | 3 県民総参加のみどりづくり |

3 施策体系

| 基本目標 | 施策区分 | 施策展開 | |
|---------------------------|--------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | |
| 1 森林整備と森林資源 循環利用の推進 | 1-1 県産木材の供給促進 | 1-1-1 森林整備の推進 | |
| | | 1-1-2 路網整備等による効率的な作業システムの導入促進 | |
| | | 1-1-3 施業の集約化の促進 | |
| | 1-2 県産木材の利用促進 | 1-2-1 県産木材の流通体制の整備 | |
| | | 1-2-2 公共建築物・民間住宅等における県産木材利用の促進 | |
| | | 1-2-3 県産木材の普及啓発 | |
| | 1-3 里山再生の推進 | 1-3-1 里山整備の推進 | |
| | | 1-3-2 里山資源の利活用 | |
| | 1-4 森林・林業の担い手育成 | 1-4-1 林業後継者の確保・育成 | |
| | | 1-4-2 担い手育成の促進 | |
| | 2 暮らしを支えるみどりの充実 | 2-1 暮らしを守るみどりの保護・保全 | 2-1-1 山地災害防止対策の推進 |
| | | | 2-1-2 保安林の適切な管理 |
| 2-1-3 適正なみどりの保全 | | | |
| 2-1-4 森林病虫害等防除対策の推進 | | | |
| 2-1-5 有害鳥獣対策と外来種対策の推進 | | | |
| 2-2 すぐれた自然の保護・保全 | | 2-2-1 自然公園等の保護・利用 | |
| | | 2-2-2 すぐれた風景や自然環境、良好な生活環境の保護・保全 | |
| | | 2-2-3 自然記念物等の保護・保全 | |
| | | 2-2-4 生物多様性の保全 | |
| 2-3 身近なみどりの整備・管理 | | 2-3-1 公共施設の緑化の推進 | |
| | | 2-3-2 民間施設等の緑化の促進 | |
| | | 2-3-3 森林公園等の整備・管理 | |
| 3 県民総参加のみどりづくり | | 3-1 みどりづくりへの理解と参加の促進 | 3-1-1 みどりづくりの意識の高揚 |
| | | | 3-1-2 みどりを守り・育てる人材の育成 |
| | | 3-2 県民参加のみどりづくりの推進 | 3-2-1 県民参加の森づくり活動の推進 |
| | 3-2-2 みどりを活かした地域づくり活動の推進 | | |

1 森林整備と森林資源循環利用の推進

課題
1

森林の多面的機能を持続的に発揮していくため、森林の適正な整備を推進するとともに、持続可能な森林経営を確立する必要がある

施策展開

県産木材の供給促進

| 森林整備の推進 | 路網整備等による効率的な作業システムの導入促進 | 施業の集約化の促進 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎森林施業や間伐材の搬出を支援 ◎地球温暖化対策や花粉症対策に対応した苗木の供給体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ◎林道や森林作業道等による林内路網の整備を促進 ◎効率的な木材生産が可能となる作業システムの普及 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ICTを活用し、森林資源や林内路網等の情報を収集 ◎香川県の森林の状況に適した森林施業体系を検討 |

課題
2

県産木材の流通量の増加と安定供給を図るとともに、県産木材の品質や特性などについてのPRや利用への支援に取り組む必要がある

施策展開

県産木材の利用促進

| 県産木材の流通体制の整備 | 公共建築物・民間住宅等における県産木材利用の促進 | 県産木材の普及啓発 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎付加価値の高い県産木材の加工・流通体制の整備を支援 ◎県産木材認証制度の適切な運用 | <ul style="list-style-type: none"> ◎公共施設における県産木材の利用促進 ◎県産木材の個人住宅などでの利用を促進 | <ul style="list-style-type: none"> ◎木材の良さや利用の意義を学んでもらう機会の提供 ◎県産木材の品質や特性等について広く県民にPR |

課題
3

里山整備や里山資源の利活用の拡大に向けた地域の取組みなどに対して、より一層の支援を行っていく必要がある

施策展開

里山再生の推進

| 里山整備の推進 | 里山資源の利活用 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎高齢級化している広葉樹林や放置された竹林等の整備を支援 ◎広葉樹林や竹林の管理技術の普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ◎広葉樹・竹資源の活用に取り組む地域等を支援 ◎高齢級化している広葉樹林の適正な管理と利活用の方法を検討 ◎各種イベントにおいて、原木シイタケなど特産林産物をPR |

課題
4

後継者となる人材の確保・育成に取り組むとともに、意欲と能力のある林業経営体に対しては経営基盤の強化等の支援を行う必要がある

施策展開

森林・林業の担い手育成

| 林業後継者の確保・育成 | 担い手育成の促進 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎森林の多様な利用方法や管理のための技術習得を目的とした講座を開催 ◎林業研究グループの活動の活性化を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ◎森林組合が取り組む労働安全衛生研修等を支援 ◎林業労働力確保支援センターが行う、林業の求職情報の提供や技術研修を支援 ◎林業事業体を「意欲と能力のある林業経営体」としての育成 |

2 暮らしを支えるみどりの充実

課題
1

山地災害の未然防止を図るための治山事業の推進や各種規制の適正な運用、森林病虫害や野生鳥獣等による被害の早期発見、被害拡大防止対策の迅速な実施に努める必要があります

施策展開

暮らしを守るみどりの保護・保全

| 山地災害防止対策の推進 | 保安林の適切な管理 | 適正なみどりの保全 | 森林病虫害等防除対策の推進 | 有害鳥獣対策と外来種対策の推進 |
|--|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎治山ダム設置による山地災害防止対策と治山施設の長寿命化対策 ◎土砂流出防備保安林等の整備 ◎山地災害危険地区に対する避難体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ◎必要な保安林の指定・解除を行うなど適正に配備 ◎指定施業要件を見直すなど保安林制度を適正に運用 ◎治山事業による保安林機能の回復 | <ul style="list-style-type: none"> ◎「林地開発許可制度」や「事前協議制度」の適正な運用により森林の無秩序な開発を防止 ◎開発跡地の確実な緑化 ◎農地や藻場の保全 | <ul style="list-style-type: none"> ◎松くい虫被害対策による地域にとって重要なマツ林の保全 ◎ナラ枯れの早期発見と被害の急速な拡大の防止 ◎森林保険の加入促進と林野火災予防の啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ◎市町が行う有害鳥獣捕獲への支援と県主体の捕獲事業の重点的実施 ◎特定外来生物の防除と「侵略的外来種リスト」を活用した適切な防除 |

課題
2

すぐれた自然環境の保護・保全を図るとともに、さまざまな主体が連携して、生物多様性の保全に取り組む必要がある

施策展開

すぐれた自然の保護・保全

| 自然公園等の保護・利用 | すぐれた風景や自然環境、良好な生活環境の保護・保全 | 自然記念物等の保護・保全 | 生物多様性の保全 |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎開発行為に対する規制・指導と施設の適切な維持管理 ◎積極的な広報活動や各種イベントの充実による施設の利用促進 | <ul style="list-style-type: none"> ◎自然環境保全地域等についてのみどりの巡視員等による巡視 ◎環境影響評価制度の適正な運用 | <ul style="list-style-type: none"> ◎自然記念物等についてのみどりの巡視員等による巡視 ◎自然記念物等の現況を調査し、管理方法についての助言等の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ◎普及啓発活動の推進と指導的役割を果たす人材の育成 ◎希少野生生物の生息・生育に支障を及ぼす侵略的外来種対策 |

課題
3

公共施設における緑化の質の向上に努めるとともに、地域の緑化活動の促進、森林公園等の整備を行う必要がある

施策展開

身近なみどりの整備・管理

| 公共施設の緑化の推進 | 民間施設等の緑化の促進 | 森林公園等の整備・管理 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎道路の緑化や港湾緑地の整備 ◎緑化技術マニュアル等に基づく緑化が図られるよう、関係機関と連携を強化 | <ul style="list-style-type: none"> ◎都市計画区域にある民間施設等の芝生化や建物緑化の支援 ◎緑化相談等による緑化活動の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ◎森林公園の整備と多彩なイベントの実施や効果的な情報発信 ◎都市公園の整備と適切な維持管理 |

3 県民総参加のみどりづくり

課題
1

さまざまな啓発活動を通じて、「みどりづくり」に対する県民の意識を高めるとともに、みどりを守り・育てる人材の育成や、森林ボランティア団体などの活動が継続していけるような取組みを行う必要がある

施策展開

みどりづくりへの理解と参加の促進

| みどりづくりの意識の高揚 | みどりを守り・育てる人材の育成 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎みどりの持つ働きの重要性を啓発するどんぐり銀行活動の推進 ◎緑の募金活動について県民への周知等に協力 ◎CSR活動に関心のある企業・団体の森林整備活動への参加を促進するため、CO2吸収量認証制度をPR ◎みどりづくりから林業、木材利用まで総合的に普及啓発を図るイベントの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ◎みどりに関する「体験」、「学習」、「実践」ができる多様な講座を実施する「みどりの学校」を運営し、みどりを守り・育てる人材を育成 ◎森林とのふれあい活動や森づくり体験を行う機会の提供、森林ボランティア活動等の情報提供の充実 ◎高齢化等により後継者の確保が課題となっているため、森林ボランティア活動等が継続していくために必要な取組みについて検討 |

課題
2

森林をはじめとする「みどり」は、県民共通の財産であることから、次世代を担う子供たちやCSR活動に関心のある企業や団体を含め、多様な主体による「みどりづくり」の活動を支援していく必要がある

施策展開

県民参加のみどりづくりの推進

| 県民参加の森づくり活動の推進 | みどりを活かした地域づくり活動の推進 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎小学校などに新たな少年団の設立の働きかけ、少年団が行うみどりづくり活動の支援 ◎CSR活動に関心のある企業や団体に、手入れが必要な森林の情報を提供するなど、多様な主体による協働の森づくりを推進 ◎毎年11月11日の「かがわ 山の日」に合わせて森づくり活動を行うなど、森づくりの重要性について普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ◎森林・山村多面的機能発揮対策活動を行う森林ボランティアを支援 ◎農山村の魅力ある地域資源を活かした農泊やグリーン・ツーリズムを推進するなど、農山村地域と都市住民との交流を促進 ◎行政と地域住民が協働して河川環境を保全する活動の活性化、地域住民が自主的に行う河川の美化・愛護運動の促進 ◎海岸漂着物等の回収・処理や発生抑制、地域住民が自主的に行う海岸の美化・愛護運動の促進 |

4 主な指標

★は新規の指標

| | 施策区分 | 指 標 | 単位 | 現況 (R2 年度) | 目標 (R7 年度) |
|---------------------------|-------|----------------------------|----------------|-----------------------|---------------------|
| 1 森林整備と森林資源循環利用の推進 | | | | | |
| 1 | | 県産認証木材の搬出量 | m ³ | 10,230 (H28~R2 平均) | 12,000 |
| 2 | | ★森林整備と木材利用に関する認知度 | % | 47 (R3.6) | 60 |
| 3 | 1-1-1 | 森林整備面積 (累計) | ha | 4,536 (H28~R2 累計) | 5,000 (R3~7 累計) |
| 4 | 1-1-2 | 林内路網延長 | km | 1,714 | 1,749 |
| 5 | 1-2-1 | ★県産認証木材取扱事業者数 | 事業者 | 35 | 42 |
| 6 | 1-3-2 | ★里山資源の生産量 | t | 3,278 (H28~R2 平均) | 3,900 |
| 7 | 1-4-2 | 新規林業就業者数 (累計) | 人 | 59 (H28~R2 累計) | 50 (R3~7 累計) |
| 2 暮らしを支えるみどりの充実 | | | | | |
| 8 | | 公園・緑地面積 | ha | 1,838 (R 元) | 1,856 |
| 9 | | ★みどりの豊かさ (森林・公園など) の満足度 | % | 62 (R3.6) | 65 |
| 10 | 2-1-1 | 治山施設整備箇所数 (累計) | 箇所 | 56 (H28~R2 累計) | 75 (R3~7 累計) |
| 11 | 2-1-4 | ★ナラ枯れ拡大防止対策のための更新伐の面積 (累計) | ha | 新規 | 25 (R3~7 累計) |
| 12 | 2-1-5 | ニホンジカの年間捕獲頭数 | 頭 | 1,685 (H28~R2 平均) | 1,500 |
| 13 | 2-2-4 | ★生物多様性に関する県民の認知度 | % | 37 (R3.6) | 50 |
| 14 | 2-3-2 | 街なか緑化推進事業の実施箇所数 (累計) | 箇所 | 23 (H28~R2 累計) | 20 (R3~7 累計) |
| 15 | 2-3-3 | 森林公園の入園者数 (累計) | 千人 | 2,821 (H28~R2 累計) | 2,960 (R3~7 累計) |
| 3 県民総参加のみどりづくり | | | | | |
| 16 | | 県民参加の森づくり参加者数 (累計) | 人 | 40,906 (H28~R2 累計) | 45,000 (R3~7 累計) |
| 17 | | ★森林ボランティア活動の関心度 | % | 61 (R3.6) | 65 |
| 18 | 3-1-1 | ★どんぐり銀行新規預金者数 (累計) | 人 | 5,668 (H28~R2 累計) | 6,000 (R3~7 累計) |
| 19 | 3-2-2 | みどりづくり活動団体数 | 団体 | 30 | 35 |